

東日本大震災に係る環境創造局の対応について

**1 市民の皆様への対応状況**

(1) 大気中の放射線測定

大気中の放射線（ガンマ線）量を24時間体制で監視し、ホームページ等で公表しています。

測定地点；環境科学研究所（磯子区滝頭）

アクセス件数（5月22日まで）

（公表開始日）	総数	一日あたり件数（ピーク日）
ホームページ（3/15）	約327万件	約19万件（3/16）
携帯電話サイト（3/17）	約44万件	約1万8千件（3/25）

(2) 動物園入園者の誘導

地震発生当日、大きな余震が続いていたため動物園の閉園を決定し、園内放送を行いながら、職員・警備員により園外へ安全に誘導しました。

3月11日の来園者数；2,920人（内訳；ズーラシア1,332人、

野毛山動物園1,171人、金沢動物園417人）

(3) その他

ア 計画停電の影響により、動物園を臨時休園しました。

	休園日	日数
ズーラシア	3月14・16・17・18・22・23・24日	計7日間
金沢動物園	3月15・16・17・18日	計4日間

\* 野毛山動物園は計画停電エリア外であるため、臨時休園を実施していません。

イ 節電のため、公園施設のナイター営業を休止しました。

	箇所数
野球場・運動広場	15箇所
テニスコート	13箇所

\* 3月15日から休止（6月1日より再開）

**2 被災地・被災者への支援状況**

(1) 被災地への人的支援

ア 仙台市の下水道の被害状況を調査するため、3月16日から4月26日までの42日間に43人（延べ281人）の職員を派遣しました。

調査実績

延長	マンホール数
160km	4,498箇所

イ 被災地の下水道施設の復興支援のため、5月1日より1年間、日本下水道事業団に2名の職員を派遣しています。

(2) 被災された方への支援

横浜市内に避難し、公営住宅等に居住されている方の下水道使用料を減免します。

対象：横浜市に避難し、公営住宅等に居住されている方及び被災された方が同居されている世帯

内容：下水道使用料の基本額相当額を減免（2箇月分 1,260円）

期間：入居日から原則6箇月以内（最長2年間）

### 3 その他の対応

(1) 「総合的な震災対策の考え方」について

(2) 下水汚泥等の放射性物質濃度の測定

下水汚泥等の放射性物質の濃度を検査し、測定結果を5月13日からホームページで公表しています。

	名 称	流入下水	放流水	脱水汚泥 (ベクレル/kg)	焼却灰 (ベクレル/kg)
北部 下水道センター	ヨウ素 131	不検出	不検出	696	866
	セシウム 134	不検出	不検出	380	6,961
	セシウム 137	不検出	不検出	692	6,095
南部 下水道センター	ヨウ素 131	不検出	不検出	168	2,712
	セシウム 134	不検出	不検出	79	1,439
	セシウム 137	不検出	不検出	160	3,603

(3) 被害の対応

ア 金沢区内の一部で、液状化現象によりマンホールの浮上や沈下が発生したため、路面のすりつけ等を行いました。今後、管きよの更生等を実施します。

イ 水再生センター等（12施設）において、一部の設備や土木施設に被害を受けたため、補修しました。

ウ 一部の公園や動物園において、舗装や壁面に亀裂等が生じたため、補修しました。

(4) その他

ア 神奈川県と連携し、農畜産物等の放射能濃度の検査結果をホームページで公表しています。

イ 国に対して、東京湾内における津波対策の見直し及び放射性物質の測定機器導入等の支援を要望します。